



# 樹蔭静け

北海道帯広三条高等学校  
〒080-2473  
北海道帯広市西23条南2丁目12番地  
TEL: 0155 (37) 5501  
発行日 令和3年5月31日

## 緊急事態宣言下での2年ぶりの高体連支部大会

緊急事態宣言下での高体連十勝支部大会は、感染対策に神経を遣いながらの大会でした。本校はソフトボール、ハンドボール、バスケットボールの当番校としてその務めを果たしました。残念ながらバスケットボールの途中中止をはじめとする新型コロナの影響がありましたが、大会に出場した生徒たちはそれぞれ全力で競技に向かっていた。当番校長として試合に立ち会うことのできたソフトボールではひたむきに白球を追いかけるチームと最後まで投げ続けたエースの姿に胸が熱くなりました。また、女子ハンドボールでは前半の3点ビハインドの状況から、後半10分まで相手に得点を許さず見事逆転するという、手に汗握る好ゲームでした。キーパーを引き上げる7人攻撃を選択した監督の采配とそれを見事にやっつけるチーム力に感服しました。

さて、本校では、全道大会に進出した部活動や直近の大会に向けた練習等について、一層の感染対策をとりながら限定的な活動を認めております。この点につきまして、ご家庭におかれましてもご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 【結果報告】

全道大会進出の部活動名のみあげさせていただきます。



【ソフトボール 対南商戦】

- |            |              |
|------------|--------------|
| ◆陸上競技部     | ◆アーチェリー部     |
| ◆女子ソフトテニス部 | ◆男子バスケットボール部 |
| ◆男女バドミントン部 | ◆男女ハンドボール部   |
| ◆卓球部       | ◆柔道（個人出場）    |
| ◆水泳（個人出場）  |              |

各部のHPもぜひご覧ください！

## 教育実習終了 ～ 実習生から生徒たちへのメッセージ

今年度、教育実習を行ったのは5名の卒業生です。1名が2週間、4名は3週間の実習に励みました。高校生の時には当たり前のようを受けていた授業ですが、いざ授業を行う側になるとその難しさと準備の大切さに気付いたようでした。それでも生徒たちとともに過ごした貴重な経験を今後に生かしてほしいと思います。では、5人の実習生から生徒たちへのメッセージを紹介します。（原文のまま）

### ◆真野悠生（数学・信州大）

昨今の状況により、皆さんの心の中には不安もあると思いますが、高校生活は一度きりです。節度をもちつつも最高の高校生活を送れるよう精一杯楽しんでください！

### ◆村上成美（家庭・藤女子大）

三条高校は素晴らしい学校です。ぜひみなさんには、歴代の先輩がつくった“三条ブランド”を守り、継承してほしいと思います。そのために、今、たくさんの友人や先生と出会い、素敵な経験をしてください。応援しています。

### ◆鹿嶋 匠（公民・札幌大）

一生懸命勉強をして、必死に部活をして、たくさんご飯を食べて、思いつき休んで、また休んで、さらに休んで、時には感謝を示してください。そしたら、いつのまにか全て終わって、懐かしんでいます。これからど



う生きていこう。

### ◆渡部雄策（日本史・國學院大）

高校生活はとても短いです。この期間でやれることはできるだけ挑戦してみてください。困ったときは友達や先生が支えてくれます。多くの有意義な経験をして、後悔のない高校生活を送ってください。

### ◆佐藤誠也（生物・帯広畜産大）

3週間という期間で、皆さんから色々と学ばせていただきました。この先は楽しい経験も大変な経験もすると思いますが、そういった多くの経験から成長してってください。短い間でしたがありがとうございました。



## 第12回 1年次主任 伊藤智昭 教諭

### 受身にならず、自分でとことん考えよう！

#### ◆音楽との出会い

高校入学後すぐは部活動をしていませんでした。毎日、家に帰って勉強をするだけの日々で少し嫌気がさして、何か楽器を始めようと思い立ちました。そこで、ピアノを習うことにしました。高校生が小さな子どもたちに混じって習おうとするのですから、初めは嫌がられたのですが、そこは無理を言って頼み込みました（笑）。ところが、始めてすぐ、友達から一緒に吹奏楽部に入らないかと誘われました。途中入部は敷居が高いので、一緒に入ってほしいというわけです。それもいいかなあ、と一緒に入部することにしました。好きな楽器を選んでいいと言うので、家に楽器があるということでトランペットを選択。でも全然吹けないところからのスタートでしたから、正直、部活は辛かったです。でもやめる勇気もなかったで、結局、部活動を全うし、ピアノも受験勉強が忙しくなるまで続けました。ところが大学へ進学するとジャズ研究会に入り、トランペットにのめり込むようになるのですから不思議なものです。その時、その場所で出会った人とのセッションにはまりました。音をあわせていくことで、わかり合えるのがジャズの魅力であり面白さだと思います。

#### ◆鍛えられた大学院時代

大学生の時にはアルバイトで塾講師をしていました。東大マスターコースを担当していて、東大でもない僕が講師をしていいののかと思いながら、一生懸命教えていました。実際、東大に合格する生徒も出て、「先生のおかげで東大に入れました」なんてお礼を言われると

ちょっとこそばゆい感じがしました。

僕自身はそのまま大学院へ進むのですが、担当教授はとても個性的な方で、学生が解答につまったら、そのまま帰ってしまうような人でした。ですから学生には人気がなく、ゼミは僕一人。一对一の授業は本当に厳しかったです。でもめっちゃ鍛えられました。しっかり頭の中に解答ができていて、それを何も見ないで理路整然と説明していく。ものすごい先生でした。僕もそうありたいと思っています。

#### ◆わかれば授業は楽しい！

北海道の教員になるまで、青森で2校、期限付き教員をしていました。2校目の高校は本当に柄の悪い学校で、卒業式に生徒にビールをかけられた位です。でも、そんな生徒たちでも、ちゃんとわかれば授業は聞いてくれるんです。教える側の問題なんだと気付かせてもらいました。その後、北海道に戻り正教員になってはや3校目。三条高校に赴任して2年目で年次主任という大役。先生方と一緒に年次を盛り上げていきたいと思っています。

生徒たちには「受身にならず、自分で考えること」が大事だと伝えていきます。何でも受け入れることがいいことではありません。まずはとことん自分で考えましょう！



## インタビュー

三条高校で輝いている生徒を紹介します。インタビュアーは校長です。

### 2年ぶりの三柏戦で柏葉生と選手宣誓

#### 3-1 宇野みのりさん



2年ぶりの三柏戦。コロナ対策のため分散開催でしたが、オープニングの選手宣誓を務めたのが3年1組宇野みのりさん。「うちのオカンがな、三柏戦でこの競技だけは絶対勝ててって言ってんけど」が始まった宣誓は爆笑の嵐。コロナ禍の

中で開催される会場の重い空気が一変し、心から楽しめる雰囲気になりました。抜群の掛け合いでしたが、一緒に宣誓した柏葉生とはなんと当日顔合わせして30分で仕上げたそうです。凄い！選手宣誓は自ら手を挙げたそうで「いつもなら応援歌で盛り上がるけど、今年は選手宣誓しかないし、それなら自分が盛り上げたかったんです。一昨年の宣誓は三条生の兄が『いいところ全部お前にとられたわ〜』と柏葉生の弟にこぼす双子の自虐ネタで会場をわかれましたが、今年はこのネタで勝負したいと私から提案しました。」

三柏戦にいた中学時代の友人たちからも「あなたがお笑いをするとは」と意外だったようです。宣誓の動画を見たお母さんも爆笑して「お笑いでもいけるんじゃない」と言っていたとか。

宇野さんは部活動には入っていませんが、小3から柔道をしていて、今まで個人資格で高体連に出場してきました。今大会でも全道大会出場を権利を獲得しました。最後に当たった相手は妹さん。「今まで負けてもただ悔しいしかなかったのですが、今回は初めて妹の柔道の良さを認め、自分の弱さに気づくことができたんです。柔道は相手がいて初めて成り立つスポーツです。自分から色んなことを気づけるように成長させてくれたのだと思います。最後の全道大会は成長した自分で悔いのないように闘ってきます！」ととびきりの笑顔で答えてくれました。

最後に本当にお笑いの道どうですか、と聞いてみました。すると即、「ずっと国語の先生になりたかったんです。校長先生ご指導よろしくお願いします！」と頭を下げられました。了解しました。中間テストが終了したら鍛えて差し上げましょう。